

# 1 平成27年度鹿屋市当初予算(案)総括表

(単位：千円，%)

区 分	平成27年度		平成26年度	対前年度比較		
	当初予算額	構成比	6月予算額	増 減 額	増減率	
一 般 会 計	45,343,000	61.5	45,232,000	111,000	0.2	
特 別 会 計	国民健康保険事業	14,881,473	20.2	13,594,545	1,286,928	9.5
	後期高齢者医療	1,172,987	1.6	1,153,239	19,748	1.7
	介護保険事業	10,555,070	14.3	10,396,402	158,668	1.5
	公共下水道事業	1,638,078	2.2	1,170,533	467,545	39.9
	下 水 道 (輝北農業集落排水)	49,171	0.1	44,057	5,114	11.6
	輝北簡易水道事業	96,164	0.1	108,004	△ 11,840	△ 11.0
	小 計	28,392,943	38.5	26,466,780	1,926,163	7.3
合 計	73,735,943	100.0	71,698,780	2,037,163	2.8	

公 営 企 業 会 計	水 道 事 業	収 益 的 収 入	1,684,627
		収 益 的 支 出	1,450,009
		資 本 的 収 入	47,055
		資 本 的 支 出	746,420

2 平成27年度一般会計歳入歳出予算対前年度比較表

(1) 歳入

(単位 千円)

款		当初予算額	補正予算額 (第～号)	予算額累計 (a)	平成26年度6月 (b)	増減額 (a)-(b) (c)	増減率 (c)/(b) %
1	市税	9,599,500		9,599,500	9,678,000	△ 78,500	△ 0.8
2	地方譲与税	442,000		442,000	442,000	0	0.0
3	利子割交付金	12,000		12,000	13,500	△ 1,500	△ 11.1
4	配当割交付金	16,000		16,000	16,500	△ 500	△ 3.0
5	株式等譲渡所得割交付金	6,000		6,000	2,000	4,000	200.0
6	地方消費税交付金	1,500,000		1,500,000	995,000	505,000	50.8
7	ゴルフ場利用税交付金	8,000		8,000	8,000	0	0.0
8	自動車取得税交付金	40,000		40,000	35,000	5,000	14.3
9	国有提供施設等所在市町村助成交付金	330,000		330,000	275,000	55,000	20.0
10	地方特例交付金	32,000		32,000	32,000	0	0.0
11	地方交付税	13,000,000		13,000,000	13,200,000	△ 200,000	△ 1.5
12	交通安全対策特別交付金	20,000		20,000	24,500	△ 4,500	△ 18.4
13	分担金及び負担金	599,289		599,289	681,730	△ 82,441	△ 12.1
14	使用料及び手数料	783,485		783,485	829,535	△ 46,050	△ 5.6
15	国庫支出金	7,553,675		7,553,675	7,181,094	372,581	5.2
16	県支出金	4,052,247		4,052,247	3,365,158	687,089	20.4
17	財産収入	82,562		82,562	82,354	208	0.3
18	寄附金	2		2	2,102	△ 2,100	△ 99.9
19	繰入金	2,412,131		2,412,131	2,896,645	△ 484,514	△ 16.7
20	繰越金	600,000		600,000	600,000	0	0.0
21	諸収入	478,209		478,209	369,282	108,927	29.5
22	市債	3,775,900		3,775,900	4,502,600	△ 726,700	△ 16.1
歳入合計		45,343,000		45,343,000	45,232,000	111,000	0.2
内	自主財源	14,555,178		14,555,178	15,139,648	△ 584,470	△ 3.9
訳	依存財源	30,787,822		30,787,822	30,092,352	695,470	2.3

(2) 歳出

款		当初予算額	補正予算額 (第～号)	予算額累計 (a)	平成26年度6月 (b)	増減額 (a)-(b) (c)	増減率 (c)/(b) %
1	議会費	339,374		339,374	329,624	9,750	3.0
2	総務費	4,636,733		4,636,733	4,482,033	154,700	3.5
3	民生費	18,840,434		18,840,434	17,805,540	1,034,894	5.8
4	衛生費	2,919,345		2,919,345	3,049,861	△ 130,516	△ 4.3
5	労働費	63,126		63,126	77,258	△ 14,132	△ 18.3
6	農林水産業費	2,781,970		2,781,970	2,239,524	542,446	24.2
7	商工費	722,046		722,046	856,078	△ 134,032	△ 15.7
8	土木費	3,355,968		3,355,968	3,011,186	344,782	11.5
9	消防費	1,991,684		1,991,684	2,160,119	△ 168,435	△ 7.8
10	教育費	4,830,786		4,830,786	6,173,908	△ 1,343,122	△ 21.8
11	災害復旧費	154,070		154,070	154,184	△ 114	△ 0.1
12	公債費	4,623,714		4,623,714	4,818,295	△ 194,581	△ 4.0
13	諸支出金	33,750		33,750	24,390	9,360	38.4
14	予備費	50,000		50,000	50,000	0	0.0
歳出合計		45,343,000		45,343,000	45,232,000	111,000	0.2

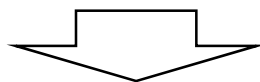
### 3 平成27年度一般会計当初予算（案）の概要

#### (1) 当初予算の基本的な考え方

---

##### ◎国の動向

- デフレ脱却から好循環の拡大へ繋げるための成長戦略を強化・深化する。
- 26年度補正予算や27年度税制改正とあわせ、経済再生と財政再建の両立を実現する。



- 経済再生と財政再建の両立を目指す。
- 地方創生の観点から都市圏への一極集中に歯止めをかけるために「地方のしごとを創生」することにより、「地方への新しい人の流れ」を生み出す好循環を確立する。
- 地方の活性化を推進し、「人口減少克服・地方創生」に正面から取り組む。

##### ◎鹿屋市の考え方

- 重点的に5つの戦略の政策分野や地方創生に係る施策・事業に取り組む、地域の活性化を図る。
- 人口減少対策や地域経済の好循環に向けた取組を推進し、雇用と所得の向上を図る。
- 国の経済対策と呼応した補正予算の編成を予定しており、当初予算とあわせて一体で切れ目のない「経済対策」とする方針。

## (2) 当初予算の規模

### ◎マニフェストを踏まえた予算配分

#### ○一般会計 453億4千3百万円（前年度比0.2%増）

※前年度は骨格予算のため6月補正後予算と比較

（前年並みの予算規模を確保）

少子化対策などの社会保障費が膨らむ中、予算規模を極力抑制しつつ、公約を推進する本格予算として編成

### ◎健全財政は引き続き堅持

（財政健全化の取組みを継続して実施）

#### ○市債残高の縮減（起債管理に基づく借入額の抑制による）

平成18年度末：486.1億円

⇒ 平成27年度末見込：405億円（▲81.1億円）

#### ○交付税措置のある有利な市債活用（臨財債＋合特債）へのシフト

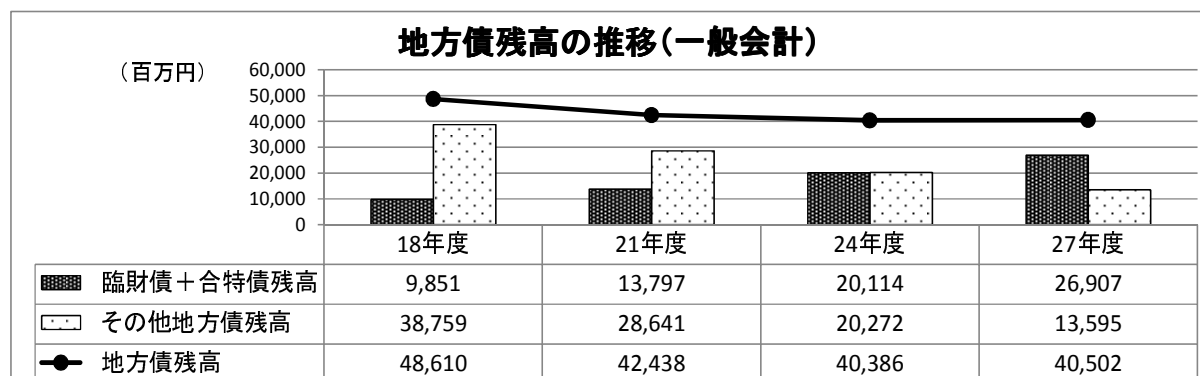
##### 【実質公債費比率・将来負担比率の抑制】

平成18年度末：20.2%

⇒ 平成27年度末見込：66.4%（（臨財債＋合特債）／市債残高）

#### ○プライマリーバランスの黒字確保

⇒ 市民の暮らしに身近な投資をはじめとして、公共工事による経済対策を積極的に講じる一方で、合併した平成18年度から連続して9年間黒字を確保



### (3) 当初予算の特徴

## 鹿屋・大隅を前進させ、まち・地域の持続的発展を推進する 「鹿屋市の新たな10年創造予算」

#### 【特徴】

- ① 市政施行10周年という節目の年度であることを踏まえ、今後の「鹿屋市の新たな10年」を創造するために必要な項目に財源を重点配分(P7下段)
- ② 今後、予算計上を予定している国の交付金を活用した平成26年度補正予算と一体となった地方創生の取組み、切れ目ない「経済対策」の実施
- ③ 企業誘致や観光資源の活用による誘客促進、6次産業化の取組みなどによる雇用機会の確保
- ④ 都市間競争の中で、人口を呼び込むための基本となる「すべての市民が安心できるくらしづくり」の推進
- ⑤ 財政基盤を確立するため、「鹿屋市新行財政改革プラン」及び「鹿屋市財政構造改革実行計画」に基づく聖域なき行財政改革の実行

平成27年度の予算編成に当たっては、すべての事務事業について徹底した経費の削減を図り、事業の「選択と集中」により、限りある財源の効率的な活用に努めました。

また、5つの戦略を踏まえた各種施策を着実に推進し、目標の達成に向け積極的に取組むとともに、都市基盤整備や災害対策の強化など喫緊の課題にも重点的に配慮しました。

このような中、市民の暮らしと健康を守ることを第一として、『鹿屋市の新たな10年創造予算』として編成いたしました。

## 鹿屋を取り巻く社会情勢

### ○少子・超高齢社会の進展

- ・人口減少・まちの活力低下

### ○基盤となる社会資本整備の進展

- ・東九州自動車道の開通
- ・肝属中部畑かんの一部通水
- ・大隅加工技術拠点施設の開設

- ・大幅な税収の増加が見込めない一方、社会保障経費が増嵩⇒ 財政の硬直化を防止
- ・子ども子育て支援の充実、共生協働による地域コミュニティの活性化、地域インフラの維持・長寿命化⇒ 人口減少時代への本格的な挑戦が求められる
- ・地域の将来に向けて発展の基盤となる社会資本の整備  
⇒ 地域を前進させる施策展開が必要

### 地域間競争

- ◎不断の行財政改革を実行。さらなる鹿屋の発展につながる施策を実施。鹿屋・大隅を前進させ、まち・地域の持続的発展を推進。

## 予算の5つの戦略と主要重点項目

- 戦略1：雇用と所得につながる産業をおこすまちづくり
- 戦略2：広域連携を積極的に推進するまちづくり
- 戦略3：笑顔あふれる安心・安全なまちづくり
- 戦略4：心豊かに学び、地域文化を育むまちづくり
- 戦略5：安全で快適に暮らせるまちづくり

- 重点①：人口減少対策
- 重点②：戦後70年記念
- 重点③：農業農村ビジョン
- 重点④：スポーツの振興
- 重点⑤：健康づくり

## 戦略 1 ◆雇用と所得につながる産業をおこすまちづくり

### 産業 振興

【予算額 1,821,152千円】

産業の振興と雇用の場の確保による強固な経済基盤の確立を図るよう取り組みます。

#### アピール事業

##### ■かのや農業商社モデル事業（4,828千円） **新規**

地域の農畜水産物が都市圏に流通するための総合的な物流システムの構築に向け、研究・調査等を行います。

##### ■農業・農村サポート事業（7,692千円） **新規**

本市の気候風土に適した新規作物の導入及び農産物の品質向上や労働力の省力化に向けた新栽培技術導入にチャレンジし、農業所得向上を図ろうとする農業者を支援します。

##### ■食と観光、ツーリズムを活かした雇用創出サポート推進事業（24,110千円） **新規**

観光協会、物産協会、ツーリズム推進協議会及び雇用創造協議会の事務局機能を統合し、地域産業の振興と本地域における雇用機会の創出を図ります。

##### ■企業誘致推進事業（53,319千円）

第1次産品を活かした食品加工業の誘致に取り組むとともに、既存立地企業へのアフターフォローや販路開拓支援等にも努め、地域経済の活性化や雇用機会の維持・創出を目指します。

#### 主な事業

・ がんばる畑作応援事業	14,649千円
・ 農地中間管理事業	15,074千円
・ 繁殖雌牛早期淘汰促進事業	26,400千円
・ 肉用牛牛舎整備促進事業	15,000千円
・ 漁業経営改善対策事業	9,894千円
・ 地域雇用創出促進事業（若年者雇用対策）	6,930千円

課 名	事 業 概 要 等
<b>かのや農業商社モデル事業</b>	
産業振興課	<p>○かのや農業商社（仮称）の中核となる、関係機関・生産者等ネットワーク組織を立ち上げ、農業振興を目的とした、川中・川下の要望に対応できる体制を整備し、農産物が低コストで安定供給できる物流システムを構築します。</p>
<b>農業・農村サポート事業</b>	
農林水産課	<p>○新規就農希望者の研修を受け入れる農業生産法人等へ研修経費の一部を助成し、独立就農の支援を行います。 （独立就農した場合は、国の新規就農総合支援事業へ移行。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1名あたり、5万円を6ヶ月間助成</li> </ul> <p>○農業所得向上を図る意欲的な農業者に対して、苗購入の補助を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規作物の苗の購入に対し、10万円を上限として助成</li> </ul> <p>○産業用バラの育成を支援するため、購入補助を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バラ苗 5,000本購入に対し、購入費の2分の1を助成</li> </ul> <p>○かのや農援隊推進員を配置し、本市の農業を応援する「かのや農援隊」隊員の確保を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かのや農援隊推進員1名設置</li> </ul> <p>○畑作における輪作を推進するため、畑地利用支援を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10アール当たり1万円の支援</li> </ul>
<b>食と観光、ツーリズムを活かした雇用創出サポート推進事業</b>	
商工観光課	<p>○観光協会、物産協会、ツーリズム推進協議会及び雇用創造協議会の事務局機能を統合し、観光から物産、雇用まで一体となった事業を実施します。</p> <p>○都市圏での物産展を開催し、東九州自動車道や新幹線を利用した誘客を促進します。</p>
<b>企業誘致推進事業</b>	
産業振興課	<p>○トップセールスによる企業誘致活動を実施し、雇用の場の確保を図ります。</p> <p>○県主催の懇話会等へ参加し、情報収集を図るとともに、立地企業に対する補助金を支出し、規模拡大を支援します。（1回限り）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産設備強化促進事業補助金（工場増設等 上限1千万円）</li> <li>・工場等環境整備費補助金（機械設備の更新等 上限1千万円）</li> </ul>



## 戦略2 ◆広域連携を積極的に推進するまちづくり

### 広域 連携

【予算額 216,761千円】

大隅地域の中心市として、地域全体の発展をけん引し、地域に共通する課題の解決を図るよう取り組みます。

#### アピール事業

##### ■スポーツ合宿の地域づくりチャレンジ事業（4,420千円） 新規

大隅半島へのスポーツ交流人口の増加を促すため、大隅半島におけるスポーツコミッション設立に向けた調査研究組織を設置し、着地型のスポーツ合宿の企画・試行やおもてなし等の研究を大隅広域観光開発推進会議にて行うため、負担金を支出し、実施に当たっての体制を支援します。

##### ■戦後70年記念事業（46,961千円） 新規

本市の歴史や戦跡等を活用した観光客の誘客を推進するため、平和学習ガイドの育成及び活用、関連施設の整備等を行います。

##### ■大隅広域図書館ネットワーク運営事業（6,326千円）

ネットワークを活用した図書貸出の利便性の向上を図るため、従来の予約図書の貸出窓口に「リナシティかのや、東地区学習センター、西原地区学習センター」の3箇所を加え、サービスの充実に努めます。

#### 主な事業

- |                 |          |
|-----------------|----------|
| ・ 大隅総合開発期成会広域事業 | 1,974千円  |
| ・ 観光物産普及宣伝事業    | 7,718千円  |
| ・ 観光振興イベント事業    | 10,027千円 |
| ・ 鹿屋アスリート食堂連携事業 | 4,706千円  |
| ・ かのやブランド推進事業   | 1,838千円  |
| ・ 総合交通対策事業      | 91,043千円 |
| ・ 観光道路沿線修景整備事業  | 6,440千円  |

課 名	事 業 概 要 等
<b>スポーツ合宿の地域づくりチャレンジ事業</b>	
市民スポーツ課	<p>○大隅広域観光開発推進会議において、スポーツコミッションの設立に向けた取組を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アスリート向け料理レシピ集の作成及び宿泊施設への配布</li> <li>・着地型スポーツ合宿(※)の企画及び宿泊受入</li> </ul> <p style="margin-left: 2em;">※地元チームを主体としたリーグ開催などを企画し、参加チームを募る合宿</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者アンケートによるスポーツ施設・宿泊施設の課題整理</li> <li>・宿泊関係者、競技関係者、行政等による課題解決のための研修会の開催</li> </ul>
<b>戦後 70 年記念事業</b>	
商工観光課	<p>○戦争体験を後世につないでいくため、平和学習ガイド（語り部）を養成します。</p> <p>○市内の戦跡マップを作成するとともに、戦跡をめぐるツアーを実施します。</p> <p>○基地史料館と連携した企画展を実施します。</p> <p>○南九州市・南さつま市と連携し、戦後 70 年記念事業を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿屋航空基地史料館と知覧特攻平和会館、万世特攻平和祈念館を周遊する事業の実施</li> </ul> <p>○市内にある地下壕司令室及び掩体壕近辺の駐車場を整備して、集客力の強化を図ります。</p>
<b>大隅広域図書館ネットワーク運営事業</b>	
生涯学習課	<p>○平成25年3月末に運用開始した「大隅広域図書館ネットワーク」について、市民の利便性の向上を図るため、従来の予約図書の出窓「市立図書館、輝北図書室、串良公民館図書室、吾平振興会館図書室」に、新たに「リナシティかのや、東地区学習センター、西原地区学習センター」の3箇所を加えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運用開始時期：平成 27 年 7 月 予定</li> </ul> <p>【参考】</p> <p style="margin-left: 2em;">大隅広域図書館ネットワーク構成市町名</p> <p style="margin-left: 2em;">鹿屋市、肝付町、大崎町、南大隅町、錦江町及び東串良町</p>

## 戦略3 ◆笑顔あふれる安心・安全なまちづくり

### 医療 福祉

【予算額 5,889,839千円】

安心して子どもを産み育てやすい環境とすべての市民が健やかに生活できる人にやさしい社会の実現に向けて取り組みます。

#### アピール事業

##### ■配偶者暴力相談支援センター事業（5,812千円） **新規**

「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」及び「鹿屋市配偶者等からの暴力の防止及び被害者支援基本計画」に基づき、市民に身近なDV被害者支援機関として、安心して相談できる体制を整備します。

##### ■生活困窮者自立支援事業（6,613千円） **新規**

生活困窮者自立支援法に基づき、相談支援員、就労支援員を配置し、生活保護に至る前の段階の自立支援策を講じ、包括的な支援を行います。

##### ■高齢者元気度アップ地域包括ケア推進事業（7,830千円）

高齢者で構成するグループが行う高齢者支援や地域活性化の活動等の互助活動に対し、現金や特産品等に交換可能なポイントを付与することにより、介護予防の推進と高齢者を地域全体で支える地域包括ケアの推進を図ります。

##### ■地域こども・子育て支援事業（356,379千円） **新規**

子ども・子育て支援法の規定に基づき、地域の実情に応じて、子ども・子育て支援事業計画に基づいた各種施策を実施します（新規事業は右欄に記載）。

#### 主な事業

・ 幼稚園・保育所給付費	4,096,458千円
・ 子ども医療費助成事業	345,046千円
・ 子育て世帯臨時特例給付金支給事業	58,307千円
・ 健康診査・がん検診事業	134,533千円
・ 障害児保育事業	23,132千円
・ 地域生活支援事業	101,184千円

課 名	事 業 概 要 等
<b>配偶者暴力相談支援センター事業</b>	
市民課	<ul style="list-style-type: none"> <li>○専門相談員等による相談事業 (DV専門相談員1名、婦人相談員1名、相談員1名 計3名配置) <ul style="list-style-type: none"> <li>・専用電話による一般電話相談、面接相談</li> <li>・弁護士・臨床心理士による予約相談</li> </ul> </li> <li>○証明発行業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>・DV被害者が各種の支援制度を利用するための証明書発行 (国民年金特例免除、児童手当受給者変更申請時に使用)</li> </ul> </li> <li>○その他 裁判所、一時保護施設等への同行支援、DV発見者による通報への対応 外</li> </ul>
<b>生活困窮者自立支援事業</b>	
福祉政策課	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相談支援員の役割 <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談者が抱えている課題を分析し、ニーズを把握したうえで自立支援計画を策定します。</li> </ul> </li> <li>○就労支援員の役割 <ul style="list-style-type: none"> <li>・策定された自立支援計画に基づき、ハローワークや協力企業等関係機関と連携し、相談者の自立に向けた包括的な支援を行います。</li> </ul> </li> </ul>
<b>高齢者元気度アップ地域包括ケア推進事業</b>	
高齢福祉課	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3名以上のグループ(半数以上が65歳以上)が対象 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者を支援する活動や地域活性化の活動などを主体的に行うことで、活動1回につき1ポイント(1千円)を付与します。</li> <li>・1グループにつき年120千円(120ポイント)を上限とし、貯まったポイントを現金や特産品等に交換できます。</li> </ul> </li> </ul>
<b>地域子ども・子育て支援事業</b>	
子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域子育て支援拠点事業(6ヶ所) 乳幼児及びその家族が相互交流を行う場を開設し、相談や情報提供等の支援を行い、子育て不安緩和や子どもの健やかな育成を促進します。</li> <li>○一時預かり事業 保護者が疾病、出産、冠婚葬祭等で一時的に家庭での保育が困難になったときに、一時的に預かり、必要な保護を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般型(保育所)8施設 幼稚園型6施設(新規)</li> </ul> </li> <li>○放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)(25ヶ所) 保護者が仕事等により昼間家庭にいない小学校の児童を対象に、遊びや生活の場を提供します。</li> </ul>

## 戦略4 ◆心豊かに学び、地域文化を育むまちづくり

### 教育文化

【予算額 1,611,704千円】

地域の未来を担う人材の育成と市民文化やスポーツの振興を図ります。

#### アピール事業

##### ■国民文化祭開催事業（26,125千円） 新規

平成27年度に鹿児島県で「第30回国民文化祭」が開催されます。本市では、市民の協力を得ながら魅力あふれるイベントを行います。

##### ■かのやICT教育推進事業（4,243千円）

ICTを効果的に活用して、内容豊かで分かりやすい授業を展開し、児童生徒の学力向上を図るとともに、これからの高度情報化社会に対応できる能力を育てます。

##### ■国体に向けた競技力向上対策事業（7,864千円） 新規

平成32年に鹿児島県で開催される国民体育大会に向けて、スポーツの普及・振興を図るとともに、スポーツによる地域活性化を目指し、本市の競技力向上及び指導者の育成、競技団体の育成に取り組みます。

##### ■小学校・中学校施設耐震化促進事業（883,105千円）

安全・安心な学習環境の整備を図るため、耐震性のない学校施設について耐震化を図ります。小中学校校舎の耐震化は27年度で完了します。

#### 主な事業

- |                  |           |
|------------------|-----------|
| ・小学校・中学校施設整備事業   | 231,000千円 |
| ・「心の架け橋プロジェクト」事業 | 8,033千円   |
| ・かのや学校応援団事業      | 687千円     |
| ・競技スポーツ推進事業      | 23,133千円  |
| ・生涯スポーツ推進事業      | 17,235千円  |
| ・鹿屋市スポーツ施設再配置事業  | 22,233千円  |

課 名	事 業 概 要 等
<b>国民文化祭開催事業</b>	
生涯学習課	<p>○平成 27 年 10 月 31 日（土）から 11 月 15 日（日）の 16 日間開催されます。</p> <p>（本市で開催されるイベント事業）</p> <p>①文化協会事業 ②観光・物産事業 ③生涯学習事業  ④フラワーフェスティバル ⑤アイドル進化論。  ⑥市民ミュージカルの祭典 ⑦音楽のチカラ  ⑧KAGAYA デジタルアートフェスティバル  ⑨「原田泰治」絵画展</p>
<b>かのや ICT 教育推進事業</b>	
学校教育課	<p>○ICT 教育の推進を図るため、鶴峰小学校をモデル校として位置付けて、タブレット端末を活用した実証授業を行います。</p> <p>○モデル校の事業成果について研修会等を開催し、市内小中学校の ICT 活用指導力の向上を図ります。</p>
<b>国体に向けた競技力向上対策事業</b>	
市民スポーツ課	<p>○鹿屋市体育協会加盟の競技団体との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育成普及型スポーツクラブ支援事業 運動部や少年団がない種目において、競技団体に新たなクラブの設立を促し、育成指導を行います。</li> <li>・強化スクール型支援事業 運動部や少年団から優秀選手を選抜し、強化指導を競技団体に委託して行います。</li> </ul> <p>○競技人口の拡大や交流人口の拡大を図るため、九州や全国レベルの大会開催に向けた誘致を行います。</p> <p>誘致開催：九州大学男子バレーリーグ（5 月 14～17 日）外</p>
<b>小学校・中学校施設耐震化促進事業</b>	
教育総務課	<p>○昭和 56 年以前の建物で、耐震性のない建物の耐震性を確保し、安全・安心な教育環境の整備を図ります。</p> <p>○平成 27 年度事業対象校</p> <p>小学校：鶴峰小学校、高須小学校 外 5 校  中学校：細山田中学校、上小原中学校 外 4 校</p>

## 戦略5 ◆安全で快適に暮らせるまちづくり

### 生活環境

【予算額 3,997,705千円】

生活基盤を整備し、災害への対応等を更に強化するなど、市民の安心・安全な暮らしを確保します。

#### アピール事業

##### ■排水路整備事業（192,475千円）

総合雨水排水対策事業計画（平成26年度～平成30年度）に基づき、近年の集中豪雨等による冠水地区の排水路新設又は改築を行い、生活環境の改善を図ります。

##### ■橋梁補修事業（111,718千円）

長寿命化修繕計画に基づき、予防的な修繕により橋梁の長寿命化を図り、道路の安全性・信頼性を確保します。

##### ■災害につよいまちづくり事業（6,222千円）

地域防災力の強化を図るため、自主防災組織への助成や、災害対策本部の設置運営訓練、避難所における機能の充実などを行います。

##### ■神野のヒト・モノ・自然を生かした交流拠点整備事業（8,329千円） **新規**

神野地区の豊かな自然環境や周辺施設と組み合わせた交流の核とするため、トレッキングコースや看板の整備を行います。

#### 主な事業

・地域コミュニティモデル推進事業	24,416千円
・都市計画決定業務	16,591千円
・交通安全施設整備事業	37,400千円
・道路維持修繕事業	178,185千円
・都市公園等施設管理事業	57,166千円
・住宅改善事業	207,786千円
・住宅リフォーム助成事業	54,095千円

課 名	事 業 概 要 等
<b>排水路整備事業</b>	
道路建設課	<p>○総合雨水排水対策事業計画に基づき、集中豪雨等による冠水地区の排水路新設又は改築を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西原今坂線</li> <li>・元焼却場西側排水路外</li> <li>・野里地区    ・下方限共心線</li> <li>・川東新線    ・田崎南線</li> </ul>
<b>橋梁補修事業</b>	
道路建設課	<p>○橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の予防的な修繕工事及び設計を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補修工事箇所 小薄橋、磯吉橋、宮園橋、釜五橋、間庭橋、池崎橋</li> <li>・補修設計箇所 山下橋、上久橋、更生橋、神野橋</li> </ul>
<b>災害につよいまちづくり事業</b>	
安全安心課	<p>○防災専門指導員を設置し、市民に対する訓練を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土砂災害警戒区域を有する町内会における図上訓練(※)及び避難訓練の実施 ※地域の地図上に危険箇所や避難場所などを記入して、防災対策を検討する訓練</li> <li>・河川沿いや海岸沿いの地域における水防訓練や津波避難訓練の実施</li> </ul> <p>○自主防災組織の防災活動に対する助成を行い、地域防災力の強化を図ります。</p>
<b>神野のヒト・モノ・自然を生かした交流拠点整備事業</b>	
吾平地域政策課	<p>○中岳、4つの滝(杖立・一本松・特攻・おしどり)のトレッキングコースを整備します。</p> <p>○案内看板を整備します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トレッキングコースや自然公園、ウォーターパール館など神野地区の名所を案内するもの</li> </ul> <p>○旧神野小跡地は、地域住民と利活用を検討し、設計を委託します。</p>